

あもりブランド美容製品及び製造支援に関する試験・研究開発

－ 新規青森県産素材を配合した化粧品の製造支援 －

Development and manufacturing support for Aomori brand beauty products

－ Support for manufacturing cosmetics containing new Aomori ingredients －

平山 智代、奥本 美根子*

(*株式会社コメイチ)

弘前工業研究所は株式会社コメイチ（青森県佐井村）と、新規県産素材を配合した化粧品の製造を目的とした共同研究を実施し、新規県産素材エキスの開発と、自社で製造可能な化粧品処方技術の指導を行った。

(1) 新規県産素材エキス開発：弘前工業研究所が化粧品原料OEM会社を仲介し、溶媒やINCI名のアドバイスを行い、コメイチ社による津軽海峡なまこ粉末を用いた津軽海峡なまこエキスの開発支援を行った（図1）。

(2) 化粧品処方技術指導：コメイチ社は自社店舗で化粧品の対面販売を行っており、また、化粧品製造の業態許可を取得している強みを生かして、天然精油（香料）及び県産素材を顧客のニーズに合わせてブレンドした美容液を都度製造するという商品設計をした。しかし、そのためには毎回異なる精油を可溶化するための可溶化剤や県産素材エキスの種類や量を検討する必要が生じる。そのため、弘前工業研究所ではコメイチ社がそれを都度自社で行えるように、コメイチ社に対して可溶化技術の個別実習を実施した（図2）。コメイチ社が持ち込んだ香料（混合精油）をサンプルとして、可溶化剤の選定の仕方を指導し（図3）、さらに県産素材エキスを配合した美容液を試作した。

上記の支援を元にコメイチ社は自社での化粧品製造へ向けて、装置・器具・原料を揃え、製造準備を実施中である。尚、詳細は企業秘密にあたるため割愛する。



図1 津軽海峡なまこエキス

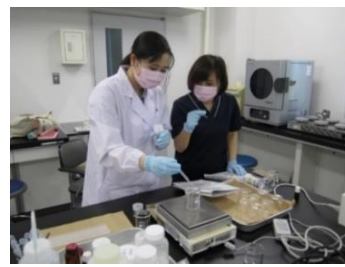


図2 コメイチ社の個別実習の様子



可溶化剤 A

可溶化剤 B

可溶化剤 C

可溶化程度の高い順（透明度順）： 可溶化剤 A > 可溶化剤 B > 可溶化剤 C

図3 各可溶化剤を用いた精油可溶化実験結果